

## はしがき

本書は、京都大学名誉教授阿部照哉先生が編集され法律文化社から刊行された『新憲法教室』（1997年）の全面的な改訂版である。本書は、これら旧版の編集方針を基本的に引き継いで、憲法の初学者から、さらに進んで、日本の憲法についての体系的な知識や理論を学ぼうとする読者までを念頭に置いて編集されている。

日本国憲法は、今年、施行から65年目を迎える。当初は、理念の先進性ゆえに長寿を保つことはむずかしいのではないかと、政治の力によって葬り去られたワイマール憲法の二の舞になるのではないかと心配された時期もあったが、「幾多の試練に堪へ」、戦後のこの国のかたちとして受け入れられるに至っている。「国民の不断の努力」による支えがあったことはいままでもない。

今日、その公権的な最終解释权を与えられている最高裁判所も、それが本来果たすべき役割を一定程度果たすようになってきているといわれる。このような傾向が今後どうなるかについては現時点では明らかではないが、旧版以来多くの判例、事例が蓄積され、新しい理論の動向が示されてきている。本書は、憲法の基本を確実に押さえるとともに、このような動向をフォローすることに留意している。そして、本書が、憲法に対する理解を深め、的確な憲法判断を身につけるための手引きとなることを願っている。

本書の編集・出版では、教育研究の場で第一線に立つ若手の方々との協力をいただいた。また、法律文化社の秋山泰氏と小西英央氏にお世話いただいた。各位に厚く御礼申しあげたい。

2012年3月

松井 幸夫 永田 秀樹